

文化振興計画 事業評価シート

事業名		指定管理事業 展覧会「入江泰吉の心の風景」展		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)ー④ (2)ー①、④	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発	継続	事業開始年	平成4年度	実施回数	1回
日時	平成27年4月3日～6月28日			会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館	
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。					
内容	平成27年3月の入江泰吉旧居の公開を記念して、入江泰吉がこだわり続けた奈良大和路の風景写真を展示します。創作活動の拠点であった旧居と併せて、入江泰吉の風景写真の代表作を紹介する。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	837,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	837,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	837,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	689,000
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有（回収件数101件／回収率1.6％）		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		8	春の観光シーズンであるので、入江泰吉の代表作を展示することで新たな客層の確保につながった。		
	参加者満足度		10	入江泰吉の代表作を中心に展示構成したことで、奈良を訪れる観光客の方から写真の魅力、入江作品の素晴らしさを伝えることができた。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	入江泰吉旧居のオープンと連動して展覧会を開催することで、写真美術館と入江泰吉旧居の誘客等に相乗効果を得ることができた。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	入江泰吉の弟子の方々の意見を取り入れ、展示構成に反映した。		
	ターゲットは適切に絞れたか		10	入江泰吉旧居がオープンすることで入江ファンが奈良に集まることから、それらの観光客にアピールすることができた。		
総合評価（自動計算）			10			
参加者や協働相手からの意見			＊入江泰吉の風景作品はいつ見ても素晴らしい。 ＊入江作品はこれからもずっと残して欲しい。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	近年は入江泰吉作品の展覧会を中心に展示事業を展開し、マンネリ化を感じていたが、入江泰吉旧居がオープンしたことで、往年の入江泰吉ファンへのアピールや新たなファン層の獲得に努めることができた。			「入江泰吉」という冠のついた写真美術館であるが、入江作品のみならず多様な写真芸術作品を紹介する写真美術館としたい。ただし、奈良を訪れる多くの観光客は、入江泰吉作品を鑑賞しに写真美術館にお越しになるので、そのニーズに応えることも必要と考えている。入江作品と多様な写真作品の展示構成のバランスを考えながら、次年度以降企画していきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		指定管理事業 展覧会「モノクロスナップの魅力」展		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)ー④ (2)ー①、④	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発	継続	事業開始年	平成4年度	実施回数	1回
日時	平成27年7月4日～8月30日			会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館	
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。					
内容	入江泰吉の昭和20年～30年代に撮影されたスナップ写真、また現代のスナップ写真の実力者である阿部淳氏・近藤育氏の作品を併せて展示し、モノクロ写真やスナップ写真の魅力を伝える。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	1,607,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	1,607,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	1,607,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	1,285,000
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有（回収件数79件／回収率2％）		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		8	今までにないテーマで写真展を企画したことで新たな客層の確保につながった。		
	参加者満足度		7	入江泰吉の代表作が展示されなかったため、遠方より写真美術館を目指してご来館いただいた方の満足は得られなかった。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	トークショー等のイベントを開催することで、多くの市民に参加していただけた。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	活躍する現役の写真家を招くことで最先端の写真芸術を展示に反映することができた。		
	ターゲットは適切に絞れたか		8	写真を勉強する方、写真家を目指す若者等をターゲットとした。		
総合評価（自動計算）			9			
参加者や協働相手からの意見			* 入江泰吉と現代を代表するモノクロスナップ作家による写真展であったので、とても興味深く、また展覧会も良かった。 * 入江泰吉以外の写真家の作品が見れて良かった。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	全国的に奈良への注目度が上がっていることから、写真集の刊行は入江泰吉の再評価につながり、奈良への誘客に寄与することができた。			「入江泰吉」という冠のついた写真美術館であるが、入江作品のみならず多様な写真芸術作品を紹介する写真美術館としたい。ただし、奈良を訪れる多くの観光客は、入江泰吉作品を鑑賞しに写真美術館にお越しになるので、そのニーズに応えることも必要と考えている。入江作品と多様な写真作品の展示構成のバランスを考えながら、次年度以降企画していきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		指定管理事業 展覧会「生誕110年記念 回顧 入江泰吉の仕事」展		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)ー④ (2)ー①、④	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成4年度	実施回数	1回	
日時	平成27年10月10日～12月23日			会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館	
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。					
内容	入江泰吉の生誕110年を記念して開催する展覧会。入江泰吉の戦前の作品から戦後、昭和後期、平成と時代ごとに作品を紹介。また同名タイトルで写真集を刊行する。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	1,089,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	1,089,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	1,089,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	667,000
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有（回収件数108件／回収率1.8％）		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		8	写真集の出版にあわせて開催することで相乗効果となり、多くの方々にご来館いただけた。		
	参加者満足度		10	入江泰吉の作品を全て紹介する展示構成したことで、奈良を訪れる観光客の方から写真の魅力、入江作品の素晴らしさを伝えることができた。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	トークショー等のイベントを開催することで、多くの市民に参加していただけた。写真集を刊行し全国展開することで、多くの方から反響があった。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	入江泰吉の弟子の方々のご意見を取り入れ、展示構成に反映した。		
	ターゲットは適切に絞れたか		10	写真集を全国展開することで、新たな客層を獲得することができた。		
総合評価（自動計算）			10			
参加者や協働相手からの意見			【協働相手（出版社）の意見】 写真集を刊行したことで、全国の入江ファンに作品が紹介できてよかった。また展覧会で迫力ある作品を見ることでより一層入江作品の素晴らしさを伝えられた。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	全国的に奈良への注目度が上がっていることから、写真集の刊行は入江泰吉の再評価につながり、奈良への誘客に寄与することができた。			「入江泰吉」という冠のついた写真美術館であるが、入江作品のみならず多様な写真芸術作品を紹介する写真美術館としたい。ただし、奈良を訪れる多くの観光客は、入江泰吉作品を鑑賞しに写真美術館にお越しになるので、そのニーズに応えることも必要と考えている。入江作品と多様な写真作品の展示構成のバランスを考えながら、次年度以降企画していきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		指定管理事業 展覧会「入江泰吉 冬の東大寺とお水取り」展		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)ー④	
	基本施策	2-05	文化振興		(2)ー①、④	
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発	継続	事業開始年	平成4年度	実施回数	1 回
日時	平成28年2月6日～3月27日			会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館	
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。					
内容	入江泰吉が戦後間もないころから長年撮り続けた東大寺二月堂の「お水取り」をメインテーマに、冬の東大寺の風景とあわせて展示する。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	788,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	788,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	788,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	746,000
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有（回収件数101件／回収率1.6％）		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		8	東大寺二月堂の修二会にあわせて実施したことで、奈良を訪れる方々の注目を得ることができた。また多くの方にご来館いただけた。		
	参加者満足度		10	入江泰吉の代表作を中心に展示構成したことで、奈良を訪れる観光客の方から写真の魅力、入江作品の素晴らしさを伝えることができた。また「お水取り」の時期に合わせることで、より満足度が上がった。		
	市民参画・協働の成果はあったか		8	作品解説等で多くの市民に参加いただけた。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	東大寺の監修や専門知識を取り入れることができた。		
	ターゲットは適切に絞れたか		10	「お水取り」を目当てにこられる多くの観光客にご来館いただけた。		
総合評価（自動計算）			9			
参加者や協働相手からの意見			＊「お水取り」を初めて本格的に取材・撮影した入江泰吉の作品を見ることができて感動した。 ＊入江泰吉作品から奈良を感じることができた。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	冬の奈良を代表する行事である「お水取り」にあわせることで、多くの観光客の方々にご来館いただけた。また、「お水取り」取材の第一人者である入江泰吉の再評価につながった。			「入江泰吉」という冠のついた写真美術館であるが、入江作品のみならず多様な写真芸術作品を紹介する写真美術館としたい。ただし、奈良を訪れる多くの観光客は、入江泰吉作品を鑑賞しに写真美術館にお越しになるので、そのニーズに応えることも必要と考えている。入江作品と多様な写真作品の展示構成のバランスを考えながら、次年度以降企画していきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		指定管理事業 展覧会「有元伸也写真展 東京・路上一チベット・草原」展		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)ー④ (2)ー①、④	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年	平成4年度	実施回数	1 回	
日時	平成28年2月6日～3月27日			会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館	
目的	テーマを替えながら一年を通して写真作品を展示し、奈良を訪れる方々に、入江作品をはじめ多様な写真芸術作品を鑑賞していただく。					
内容	奈良県もしくは関西出身の若手写真家を発掘し写真家として奈良から世界に羽ばたいてもらうことを目的とした展覧会のシリーズ第一弾。今回は奈良市で育った有元伸也にスポットをあてる。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	1,142,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	1,142,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	1,142,000	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	0	支出	597,000
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有（回収件数81件／回収率2％）		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		8	実力ある若手写真家の展覧会であったので、マスコミ・出版社・写真業界からの注目が高かった。それによって新たな客層の確保につながった。		
	参加者満足度		8	作品の素晴らしさで写真芸術を紹介する展覧会としては一定の評価を得られたが、入江泰吉の代表作が展示されなかったため、遠方より写真美術館を目指してご来館いただいた方の満足は得られなかった。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	トークショー等のイベントを開催することで、多くの市民に参加していただけた。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	全国的に知られる写真評論家の意見を取り入れることができた。		
	ターゲットは適切に絞れたか		10	写真を勉強する方、写真家を目指す若者等をターゲットとした。		
総合評価（自動計算）			9			
参加者や協働相手からの意見			【協働相手（出品作家）の意見】 奈良で育ったので、入江さんの写真美術館で展覧会を開催することができて感動している。写真家として素晴らしい経験であった。これからいろいろな写真家の展覧会を企画していただきたい。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	今注目される若手写真家にスポットをあてたことで、写真業界からの評価が高かった。また、海外メディアからの取材や写真専門誌での特集など、高い評価を得られた。			「入江泰吉」という冠のついた写真美術館であるが、入江作品のみならず多様な写真芸術作品を紹介する写真美術館としたい。ただし、奈良を訪れる多くの観光客は、入江泰吉作品を鑑賞しに写真美術館にお越しになるので、そのニーズに応えることも必要と考えている。入江作品と多様な写真作品の展示構成のバランスを考えながら、次年度以降企画していきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		自主事業 高畑デジタル写真倶楽部		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(2)－① (5)－①	
	基本施策	2-05	文化振興			
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発 継続	事業開始年		実施回数	12回	
日時	平成27年4月～平成28年3月			会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館	
目的	写真文化の普及と発展を目的に開催する。					
内容	近年普及が拡大しているデジタルカメラを専門とする講座。基礎から撮影、表現法などを学んでいただく。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	600,000	支出	200,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	648,000	支出	228,562
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				有（回収件数100件／回収率55％）		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		10	毎年人気のある講座で抽選倍率は1.3倍以上である。また、参加者のリピート率が高く、新規受講者も多いので年々倍率が上がっている。		
	参加者満足度		10	写真やカメラの基礎から撮影、表現法まで年間を通して学べることから参加者の評価が高い。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	多くの市民の方に参加いただいている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	当館技術員による専門的な講義、指導ができています。		
	ターゲットは適切に絞れたか		8	中高年以上の写真愛好家をターゲットとしているが、今後は若年層の参加も期待したい。		
総合評価（自動計算）			10			
参加者や協働相手からの意見			＊写真・カメラの基礎から作品制作まで、年間を通じて勉強することができるので非常に良い。 ＊もっと、上級者向けの講座も開催してほしい。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	中高年層の写真愛好家が増えており、それらをターゲットとすることで多くの参加者が見込める。また、専門技術員の的確な講義、指導で一定の評価を得られている。					

文化振興計画 事業評価シート

事業名		自主事業 夏休み親子で作るピンホールカメラ教室		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)ー①	(6)ー①
	基本施策	2-05	文化振興		(2)ー①	(8)ー①
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発	継続	事業開始年	実施回数	1 回	
日時	平成27年8月1日～2日			会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館	
目的	写真文化の普及と発展を目的に開催する。					
内容	小学生をターゲットに写真の歴史、文化を学んでいただき、手作りカメラの制作、暗室での現像作業を体験していただく。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	5,000	支出	5,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	4,500	支出	8,200
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		5	毎年参加者が減少してきている。夏休みの開催だが、少子化や他の行事との重なりが原因のひとつと考える。		
	参加者満足度		10	手作りカメラでの撮影や暗室作業など、初めての経験が高い満足度となっている。		
	市民参画・協働の成果はあったか		8	入江泰吉旧居の暗室を使用するなど、入江泰吉を知ってもらおうきっかけとなっている。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	当館学芸員および技術員による専門的な講義、指導ができています。		
	ターゲットは適切に絞れたか		10	夏休みに開催することで、親子での参加につながられた。		
総合評価（自動計算）			9			
参加者や協働相手からの意見			＊親子で一から手作りでカメラを作り、また、普段は経験できない暗室作業もできたので、とてもよい体験ができた。 ＊デジタル世代の子供達に手作り写真の魅力を教えることができてよかった。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	デジタルカメラが普及するなか、手作りカメラの制作や暗室での現像作業など、普段経験することのできないことを提供でき、写真文化の普及と発展につながられている。			暗室用品やカメラの素材を入手することが困難になってきたので、今後どれだけコストを削減しながらピンホールカメラを実施していくかが課題であるが、写真文化の裾野を広げる意味ではとても意義のある講座であるので、今後も変わらず楽しく写真文化を子供達に伝えていきたい。		

文化振興計画 事業評価シート

事業名		自主事業 高畑探検隊14		担当課 施設名	(入江泰吉記念奈良市写真美術館)	
総合計画 該当項目	章	第2章	教育・歴史・文化	文化振興計画 該当項目	(1)－①	(6)－①
	基本施策	2-05	文化振興		(2)－①	(11)－①
	施策	2-05-01	文化の振興			
実施形態	単発	継続	事業開始年	実施回数	1 回	
日時	平成27年8月17日 9時～正午			会場	入江泰吉記念奈良市写真美術館	
目的	写真文化の普及や発展のみならず、夏休みの子供向け事業として写真美術館が位置する奈良公園界隈の自然について学んでいただくことを目的とする。					
内容	高畑界隈から奈良公園の生態系について学んでいただく。					
事業費（円）						
予算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	4,000	支出	23,000
決算	市費 (一般財源 ・指定管理料等)	0	その他収入 (受益者負担 ・事業収入等)	3,100	支出	22,655
事業成果						
アンケート等実施の有無 (アンケート等を実施している場合、回収件数・回収率等を記入)				無		
指標			評価 (10点満点)	評価内容（件数・アンケート内容等、評価の根拠を記入）		
量的 成果	参加者数・参加率の達成度		9	毎年夏休みの恒例事業であり、参加者も多い。		
	参加者満足度		10	人気講師の楽しくわかりやすい解説で高い満足度を得ている。		
	市民参画・協働の成果はあったか		10	多くの市民に参加いただいている。また、鹿愛護協会の協力を得て、奈良公園の鹿の生態についても知ることができた。		
質的 成果	質の確保・向上、専門家の関与はなされたか		10	全国的に著名な講師を招いて、わかりやすい講義ができています。		
	ターゲットは適切に絞れたか		10	夏休みに開催することで、親子での参加につながられた。		
総合評価（自動計算）			10			
参加者や協働相手からの意見			【協働相手（講師）の意見】 20年近く本事業の講師をつとめているが、どの年も子供達の反応は変わらず真剣で興味をもって参加していることが素晴らしい。身近にある自然を知ること、環境への意識が高まり今後の生活につながっていくと考えている。			
総括	評価年度の状況			改善案・次年度以降の目標		
	小学生を中心に写真美術館を周知する事業として開催している。写真美術館が位置する奈良公園の自然を観察することで、その生態系について学んでいただいている。			写真関連の事業のみならず、違うアプローチの講座を開催して写真美術館を知ってもらい、将来の誘客に繋げていきたい。		